

ゼニフ

だい13しょう



ゼニフとニーファイ人の一行は、ゼラヘムラの地をさり、せんぞがすんでいたニーファイの地をむざしてたび立ちました。(オムナイ1：27；モーサヤ9：1)



そこにはレーマン人がすんでいました。ゼニフはなかまの4人をつれて町へ入り、レーマン王にこの地にすんでもよいか聞きました。(モーサヤ9：1，5)



わるがしこいレーマン王は、二つの町をゆずってもよいと言いました。本当は、ゼニフの一行をすまわせて、どれいにしようたくらんだのです。(モーサヤ9：6，10，12)



ゼニフのたまは家をたて、町のまわりにじょうへきをきづきました。たねをまき、こくもつやくだものもさいばいしました。かちくもかいました。(モーサヤ9：8-9，12)



レーマン王は、「ニーファイ人がしだいに力をつけてきている」とたまに言いました。やがてレーマン人がニーファイ人をおそってこらし、かちくやさくもつをうばいはじめました。(モーサヤ9：11，13-14)



ニーファイ人たちは町へにげました。ゼニフはたみに、^{ゆみ} 弓、^や 矢、^{つるぎ}、^{いし} ぼう、石なげきでぶそうさせ、レーマン人とたたかうためにいっしょにしゅつじんしました。(モーサヤ9：15-16)



たたかいの^{まえ}前に、ニーファイ人は神にいのりました。神はニーファイ人にとくべつな^{ちから}力をあたえられたので、ニーファイ人は^{おほく}多くのレーマン人^{じん}をうって、^{おい}いはらいました。(モーサヤ9：17-18)



たたかいがおわると、ゼニフは^{まち}町のまわり^みに見はりをおきました。たみと^{おと}かちくのむれをレーマン人から^{おも}まもりたいと思ったのです。(モーサヤ10：2)



こうしてニーファイ人は、^{なんねん}何年も、^{おい}へいわにくらし^{おとこ}ました。男の人は^{つく}こくもつを作り、女の人は^{おと}糸をつむいでぬのを^おりました。(モーサヤ10：4-5)



さて、レーマン王^{おう}が^{しん}しんで、^{おう}むすこが王になると、王はまたニーファイ人とたたかうために^{おう}ぐんをおくって^き来ました。(モーサヤ10：6、8-9)



ふたたびニーファイ人は^{しん}主の力をうけて、^{おほく}たくさんのレーマン人を^おころしました。のこったレーマン人は^いにげて^い行きました。(モーサヤ10：10、19-20)